

## 春の嵐が吹き荒れた翌日の“物好き Walk”

2018. 3.21.午後 by Mutsu Nakanishi 「」

妙法寺から須磨アルプス東端の東山を超えて、南の板宿へ歩く

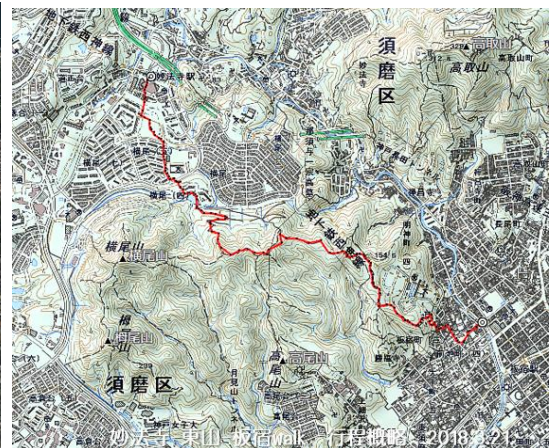


妙法寺横尾道より、須磨アルプスの東端 東山を眺める 2018.3.21.

春の嵐が吹き荒れた翌日 まだ、強い風が吹く寒い3月21日 妙法寺から須磨アルプス東端の東山を超えて、南の板宿へ歩く。目的はいつもすっかり見えぬ大阪湾対岸の二上山が見えるかもと  
また、東山から板宿へ下る古道は椿の道 昨日の大風で、落下した椿が道を敷き詰めているのをイメージして。そんな期待をこめて、また、不安定な天候の中、ちょっとした晴れ間に、妙法寺の駅からまっすぐ須磨アルプスの東端東山を目指す。

風と弱い雨がまだ残り、時折晴れ間がのぞく、曇天の中の“小さな春を探すもの好き walk “です。でも、この1年何年度も期待が外れ続けた二上山の姿を見ることができました。

また、イメージしていた椿の道にも出会え、うれしい小さな春を見つけました。 2018.3.21.夕



横尾団地 椿谷から眺める須磨アルプス 左:東山 中央:馬の背 右:横尾山

# 1. 妙法寺駅から南へ 横尾道の西六甲縦走路・東山登り口から東山へ



横尾道から 東山・六甲縦走路登り口へ 2018.3.21.



妙法寺 横尾道から 東に高取山を眺める 2018.3.21.  
後ろ 鶴越の向こうに菊水山・摩耶山が見えている

妙法寺駅の南 須磨アルプス(東山 - 馬の背-横尾山)の北山腹を巡る散策路 横尾道より 2018.3.21.



妙法寺 横尾道で 2018.3.21.



東山・六甲縦走路への登山道 シグザクに山腹をほぼ直登 2018.3.21.  
妙法寺からは東側にもう一本 東側から登る登山道がある

視界が開けぬ隼人氏の中 シグザクながら、東山の北山腹を頂上まで登る急な階段道が続く



東山の北山腹から北西 名谷のニュータウンの奥に  
高麗山が見えている 2018.3.21.



東山の北山腹から東に 樹木越しに高取山の頂上が見える 2018.3.21.



東山の北山腹より 高取山から続く西六甲の山並 2018.3.21  
夕日は風もあり、良く遊んで遠望が効く 山頂での展望が期待できる

東山登山道から眺める北西側名谷ニュータウンから北東側高取山周辺の景色



東山の北山腹の登山道 後ろはほとんどが階段状の登山道 2018.3.21.



東山山頂まじか、北山腹を一旦東に巻いて、そこから頂上へ 2018.3.21.



東側から再度階段の急な登り この上で一旦視界が開ける、もうすぐ頂上 2018.3.21.



登りきった所は視界の開けた岩場 2018.3.21.  
岩場に立つと西に馬の背から岩稜がそそり立つ横尾山が見える



岩場に立つと西に馬の背から横尾山へと続く荒々しい須磨尾根 2018.3.21  
そそり立つ横尾山が見える。須磨アルプスの核心部である



東側から登った岩場の北端から左へ岩場を登る 2018.3.21.

階段道を登り切って、頂上近く岩場に出ると、西に荒々しい須磨アルプスの姿が見える



岩場の西北端から眺める東山山腹北側の景色 2018.3.21.



南へ続く道を登り終ると東山頂上である 2018.3.21.

岩場の北側を回り込みながら南へ登りきると東西に延びる西六甲全山縦走路が稜線に延びる東山頂上山  
南の海岸側がぱっと開け、大阪湾 西に 須磨アルプス馬の背の景観が広がっている



須磨アルプスの東端 東山頂上 正面が南 海岸側 2018.3.21.  
道標の左側で西六甲の縦走路に合流 右に馬の背・横尾山 左に高取さん



小雨混じりの強風が吹き荒れる中 馬の背に一人 人影が見える 2018.3.21

須磨アルプス 馬の背の岩稜の稜線縦走路 陽が照っていないので余計にくっきりと見える 東山の頂上より 2018.3.21.

## 2. 須磨アルプス東山の頂上から大阪湾の展望



昨夜の風が残って目まぐるしく変わる天候ですが、霧が吹っ飛んで澄み渡る  
東山頂上から眺める南の海岸線 期待通り 紀淡海峡がくっきりと 2018.3.21.



東山頂上から眺める西南側 馬の背・横尾山から鉄拐・旗振山・鉢伏山と続く西六甲の西端



東山頂上から眺める北東側 高取山から西六甲の山並みが続く 2018.3.21.



東山から 東から南東側 神戸市街地越しに大阪湾の眺望 2018.3.21.  
正面には 水越峠 葛城-金剛の山並が見える

葛城山・水越峠・金綱山と続く金剛連山ははっきり見えるのですが、連山の左端の二上山やその左にある生駒山は煙っていて 残念ながらよく見えない。ところが、刻々と変化する天候の中で、薄っすら二上山が薄っすら見えてきた。この1年 縦走路に出るといつも探していた二つこぶの二上山が 念願になって やっと見られた。



目まぐるしく変わる天候 大阪湾沿岸を眺めている間に神戸市街・神戸空港の向こう対岸の連山の中に二つこぶの二上山が見えた  
2018.3.21.



大阪湾沿に浮かぶ神戸空港の向こう対岸の連山の中に  
ここ1年 はっきりした姿をとらえられなかった二上山が見えだした 2018.3.21.

ほかにも、紀淡海峡に浮かぶ友ヶ島がくっきりと。  
また、神戸の市街地もいつもに増しくっきり見えて、春の嵐の効果は絶大です。



紀淡海峡に浮かぶ友ヶ島がくっきりと見えていました 2018.3.21.



須磨アルプス東山から 葛城連山 二上山遠望 2018.3.23.  
やっとみられたうれしい姿です

二上山の左には信貴・生駒野兼山も見え、二上山の背後には、三輪・巻向の山並び？ また、特定はできませんでしたが、金剛連山の後ろには 大峰の山々も見えていたのだろう。ホント ラッキー。登ってきたかいがありました。

### 3. 東山から南の板宿への尾根筋道・椿の道を下る



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 板宿へ下る 2018.3.21



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 2018.3.21



東山送電鉄塔から下へ下る細い尾根道の両側にはちょっと遅かったのですが、赤い花をいくつも付けた椿が生い茂り、登山道にも幾つも赤い花が落ちています。椿の向こうには高取山の頂上が見え、随分もう下ったと。



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 2018.3.21.  
東山送電鉄塔展望台周辺





東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21.



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21.



東山区電鉄塔から板宿へ下る尾根道は椿の道  
昨夜の激しい雷雨に襲つても赤い花が落ちてゐる。 2018.3.21.



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21.



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21

東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21

#### 4. 椿の道・椿のトンネルを抜けると眼下に板宿の街 人家はないが、里道に



椿の道を抜けると視界が開け、海岸部の街が見える  
2018.3.21.



椿の道を抜けると視界が開け、海岸部の展望  
2018.3.21.



また、林の中に入り、板宿神社への道をたどる。  
また、人家はないが、あかるい里道に 2018.3.21.

もう 山桜が咲きだしている。先日 ここを歩いた時 満開に見えた道脇の桜はもう散り始めていました。  
ここは南面の明るい場所で随分暖かいのだろう。 板宿の街はもうすぐ下である。  
人家はないが、あかるい里道に 2018.3.21.





前回通った時に、花いっぱいつけていた桜がもう散っていました ここは随分暖かいようだ 2018.3.21.





東斜面へ尾根を下れば、斜面の中腹にある板宿八幡  
板宿の街へおりてきました 2018.3.21.



斜面の中腹にある板宿八幡 板宿の街へおりてきました  
2018.3.21.



春の嵐が吹き荒れた翌日 まだ強い風が吹く寒い3月21日  
妙法寺から須磨アルプス東端の東山を越えて南の板宿へ。  
時折晴れ間がのぞく、曇天の中の“もの好き walk “です。  
でも、この1年何度も期待が外れ続けた二上山の姿  
を見ることができました。  
また、イメージしていた椿の道にも出会えました。  
うれしい 小さな春です。

春の嵐が吹き荒れた翌日の“物好き Walk”  
妙法寺から須磨アルプス東端の東山を越えて、南の板宿へ行く  
2018.3.21.午後 by Mutsu Nakanishi

大阪湾全体を見渡せるチャンス  
また、東山から板宿へ イメージ通りの椿に覆われた椿の道  
「山道をたどれば、何かある」 物好きwalk  
満足一杯。今日は祝杯だど。

2018.3.21. 板宿から妙法寺へ 神戸三木線を歩きながら